

2018年・12月度の活動報告	
2日(日)	ECOテック&ライフとちぎ2018出展(マロニエプラザ) 「障害×防災」公開講演会
3日(月)	住民主体の助け合い活動推進連絡会議 食文化セミナー
5日(水)	大規模災害対策協議会都県連交流会
6日(木)	とちぎ食品安全セミナー とちぎ消費者カレッジ(足利大学)
8日(土)	NPO法施行20周年シンポジウム
9日(日)	福田知事政治生活35周年記念祝賀会
10日(月)	NPO法人とちぎ消費者リンク事務局会議
11日(火)	第4回理事会
12日(水)	とちぎ消費者カレッジ(國學院大學栃木短期大学)
13日(木)	栃木放送番組審議会 とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
15日(土)	「日本の人間の安全保障」指標 発表記念シンポジウム(ユニセフ協会)
17日(月)	第1回 役員・幹部職員定期学習会(経済)
18日(火)	NPO法人とちぎ消費者リンク理事会 とちぎ子育てネットワーク 「平成30年北海道胆振東部地震緊急募金」を北海道生協連に送金
19日(水)	災害ボランティアセンター運営研修会(社会福祉法人栃木県社協)
20日(木)	とちぎ消費者カレッジ(作新学院大学女子短期大学)

【12月度の振り返り】

◇機関運営

- 11日 第4回理事会
- 17日 第1回 役員・幹部職員定期学習会

◇部会活動

- 2日 ECOテック&ライフとちぎ2018出展

◇ネットワーク活動

- 6日 とちぎ食品安全セミナー
- 〃 とちぎ消費者カレッジ(足利大学)
- 12日 とちぎ消費者カレッジ(國學院大學栃木短期大学)
- 13日 とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
- 20日 とちぎ消費者カレッジ(作新学院短大)

◇被災地支援、防災

- 2日 「障害×防災」公開講演会
- 5日 大規模災害対策協議会都県連交流会
- 18日 平成30年北海道胆振東部地震緊急募金送金
- 19日 災害ボランティア運営研修会
- 3.11を忘れない～被災地のいま～をHPに掲載

◇その他

- 3日 住民主体の助け合い活動推進連絡会議
- 〃 食文化セミナー
- 8日 NPO法施行20周年シンポジウム
- 9日 福田知事政治生活35周年記念祝賀会
- 13日 栃木放送番組審議会
- 15日 「日本の人間の安全保障」シンポジウム
- 18日 とちぎ子育てネットワーク

◇NPO法人とちぎ消費者リンクの活動

- 10日 消費者リンク事務局会議
- 18日 消費者リンク理事会

以上

県連活動

1. 機関運営

- 12月11日(火)、2018年度第4回理事会を開催し、議案を確認しました。

【議決事項】次月度以降の活動計画及び決算報告/2020年度からの会費決定の流れ変更/「会費規程」の一部改定/「公印管理規則」廃止/「公印管理・使用規程」制定

【協議事項】第7次中期計画策定/第6次中期計画の振り返り/創立50周年 記念事業計画

【報告交流事項】財政検討委員会の実施報告及び答申/月度定例報告/北海道胆振地方中東部地震災害募金の報告/ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名報告/沖縄視察研修実施案内/新年賀詞交歓会の実施について/日本生協連中央地連報告及び会員報告交流

【資料報告】CO・OP REPORT/県連新事務所案内

- 12月17日(月)、2018年度第1回 役員・幹部職員定期学習会を開催しました。

■演題：安倍政権下のグローバリゼーション～私たちの暮らしにどう影響するか

■講師：高崎経済大学経済学部・経済学科 教授 矢野 修一 氏

いざなぎ景気超えの好景気といわれる中、恩恵を受けている階層と、貧困へと押しやられる階層が顕著になっています。現政権下における経済政策が私たちの暮らしにどのように影響しているのか、様々なデータを冷静に分析し、分かりやすく解説いただきました。



〈部会活動〉

- 12月2日(日)、ECO テック&ライフ 2018に出展しました。

生活クラブ生協、よつ葉生協、とちぎコープの三生協で構成する暮らし部会が出展し、各生協のテーマに基づいてパネル展示とクイズを行いました。今年度は日曜日でのみの開催となりましたが、県連ブースへは400名を超える方が来訪されました。



よつ葉生協	<p>テーマ…生物多様性</p> <p>地球には名前がわかっているものだけでも、175万種を超える生きものが生きていて、食べたり食べられたり、すみかを分け合ったりして、お互いに深いつながりを持って生きている。自分一人だけで生きている生きものはいない。〈環境省生物多様性センター「生物多様性クイズ」より〉</p>	
生活クラブ	<p>テーマ…生活クラブのグリーンシステム</p> <p>使い捨てではなく資源の循環をモットーに、環境に対する取り組みを行っている。取り組みのひとつとして「使い捨てしない空きビンのリユース」を積極的にすすめている。具体例として、牛乳ビン。飲み終えたら軽くゆすいで返却リユース。キャップとサイドスコアも回収し、ゴミ袋としてリサイクルしている。</p>	
とちぎコープ	<p>テーマ…プラスチックごみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市を対象に実施した、ゴミ処理に関するアンケート結果」を展示。回答冊子を配布。(内容…ゴミ政策の現状、可燃ごみへの資源ごみ混入率、今後の対策等について) ・家庭から出される一週間分のプラスチックごみの実物を展示。(意識したらどれ位減るか) 	

2. その他

- 12月8日(土)、NPO 法施行 20 周年シンポジウム～とちぎの NPO・協働の 20 年をふりかえる～
(一般社団法人とちぎ市民協働研究会主催)

特定非営利活動促進法(NPO 法)が 1998 年 12 月に施行されて今年で 20 年が経過しました。現在県内では 682 法人が認証されています。この 20 年間の市民活動・協働はどのように進んだのか、また、報告書「参加と協働のとちぎづくりに向けて(栃木県 NPO 等活動促進懇談会)」の提言を基に、今後の市民活動の課題について考えました。

- 1 部 基調報告「懇談会報告書は何を目指したのか」

一般社団法人とちぎ市民協働研究会理事 赤羽幸雄

- 2 部 シンポジウム「とちぎの NPO の 20 年、私の 20 年」

- ・当時の栃木県 NPO 等活動促進懇談会委員 矢野正広氏、中田裕久氏、竹内明子氏
- ・栃木県の NPO 法人第 1 号認証団体代表者 青田賢之氏
- ・コメンテーター：栃木県内若手女性 NPO 関係者

- 12月15日(土)、「日本の人間の安全保障」指標 発表記念シンポジウムに参加しました。

- シンポジウム概要:SDGs と日本:誰も取り残さないために何をすべきか

“誰も取り残さない社会”を実現するために

〈NPO 法人「人間の安全保障」フォーラムプロジェクトチーム・日本ユニセフ協会〉

この度、各界の専門家の協力を得て、子ども、女性、若者、高齢者、障がい者、被災者などの抱える課題、実態を可視化するための「日本の人間の安全保障指標」をとりまとめました。シンポジウムでは、この指標を用いて国内の地域毎の違いを発表するとともに、専門家も交えて、SDGs が目指す誰も取り残さない社会の実現のために何をすべきかを議論しました。(日本ユニセフ協会 hp より)

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

- 12月6日(木)、平成 30 年度食品安全セミナーを開催しました。栃木県・食の安全ネットワーク主催、宇都宮市共催

健康食品と医薬品の違いと使い方について、保健機能食品とは何か、また、健康食品をセルフケアに役立てるにはどうしたらよいか、分かりやすく解説いただき、参加者は理解を深めました。

- 基調講演:健康食品をセルフケアに役立てるためには？

～健康食品の有効性と安全性について考える～

- 講師:国立健康・栄養研究所食品保健機能研究部部長 千葉 剛 氏

- 報告:健康食品について～県の取り組み～(栃木県保健福祉部)

- 質疑応答



- 12月13日(木)、とちぎ食の安全ネットワーク第5回世話人会を開催しました。

世話人会学習会では、宇都宮大学名誉教授の宇田世話人より「マイクロプラスチックと食品汚染」について、解説いただきました。その他、3月7日(木)開催予定の学習会内容について協議し、東京大学大学院教授 鈴木宜弘氏を講師に、TPP・TAG 交渉の現状と食の安全性について、ご講演いただくこととしました。また、開催した食品安全フォーラム(10月11日)、食品安全セミナー(12月6日)の参加者アンケート集計結果の報告と、各団体からの活動報告等を行いました。

2. とちぎ消費者ネットワーク

- 栃木県の委託事業、とちぎ消費者カレッジ第8回、第9回、第10回を開催しました。

開催日・回	会場	講師	演題	参加人数
第8回 12月6日	足利大学	とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉 崇徳 氏	消費者トラブル予防講座 ～就職する前に知っておいて欲しいこと～	27名
第9回 12月12日	國學院大學栃 木短期大学	とちぎ総合法律事務所 弁護士 小倉 崇徳 氏	消費者問題のイロハを学ぼう ～就職する前に知っておいて欲しいこと～	155名
第10回 12月20日	作新学院大学 女子短期大学部	NPO 法人とちぎ消費生活 サポートネット会員 鷲見 恵美子 氏	ネットトラブルと契約・20歳の契約 ～通信に関連する契約とトラブル～ ～20歳の契約とお金～	131名

被災者支援活動、防災、平和の取り組み

1. 防災の取り組み

- 12月2日(日)、「障害×防災」公開講演会に参加しました。

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨災害等を通じ、防災関連の経験が蓄積されてきています。しかし、避難の現状は、障がい者にとってより厳しいものとなっており、全ての避難所を高齢者や障がい者に対応したものにすることが重要課題となっています。被災地で障がい者の救援・復興を後押しする活動を続けてきた「ゆめ風基金」長崎氏と、医療ケア児支援の仕組みづくりに尽力され、各地で講演を行ってきた「ゆうテラス」亀井氏より、非常時の対策・防災・日常の暮らしやまちづくりについて等、学ぶ機会となりました。

■講演:障がい当事者が中心の被災障がい者支援活動～

■講師:①「そのために今できること」 認定NPO法人ゆめ風基金 長崎 圭子 氏

②「在宅療育と災害防災」 ゆうテラス 亀井智泉さん

■主催:とちぎ地域生活サポート研究会(重度の障害がある子どもを支援する任意団体)

■後援:済生会宇都宮病院・認定NPO法人うりずん

- 12月5日(水) 大規模災害対策協議会 都県連交流会が開催されました。

西日本豪雨災害関連の報告、及び、グループ交流等を行いました。

<p>【岡山県生協連報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月7日、倉敷市真備町を流れる小田川が決壊。水害により、死者61名・行方不明3名。死者の8割が高齢者。真備町の3割が浸水。真備町の死者51名のうち、9割が自宅で水死。 ・岡山県との災害時物資協定は、県内の流通各社と、おかやまコープなど11社で構成される「岡山流通情報懇話会」が締結。おかやまコープは、岡山県と包括連携協定を締結。また、県内の市町と協定を締結しており、今回の水害では、7つの市町へパンや飲料水5万点を届けた。
<p>【広島県報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山県と異なり、広域被害。死者109名・行方不明5名。土砂災害により、東西の交通網が寸断され、人流と物流が滞った。 ・災害時協定締結企業の中から、トラック協会と広島県生協連を県の対策本部に召集。実際には、県職員も素人集団。⇒民間の専門家(生協連)からのアドバイスが有効だった。
<p>【広島県生協連報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の経験を踏まえ、これまで3生協と県の間で結んでいた協定を2012年に联合会で一本化。県主催の訓練、検討会、研修への参加協力、県との定期的交流実施。 ・社協から「熱中症対策で看護師派遣」の要請⇒日生協・医療福祉生協連と協議し、県外へも呼び掛け、ボランティアセンターへ看護師派遣。他の医療チームが短期なのに対し、1週間単位など帯での支援が高評価。仮設住宅へ移動販売車が定期訪問。炊出し実施。

- 12月19日(水) 災害ボランティア運営研修会に参加しました。(社会福祉法人栃木県社会福祉協議会(栃木県ボランティア活動振興センター)主催)

- 平成30年度災害ボランティア運営研修会 (講義、研修、グループワーク)

- 講師:一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター(PBV)

スタッフ 垣貫 紀彦 氏、関根 正孝 氏

災害ボランティアセンターの基本的な役割について、講義と実例を交えて研修を行いました。

2. 被災者支援の取り組み

- 12月18日(火)、「平成30年北海道胆振東部地震」緊急募金(9/15~12/15)

募金額は65万円となり、12月18日(火)に北海道生協連に送金しました。

- 被災地の情報提供

みやぎ生協さんの発信「3.11を忘れない～被災地のいま ー復興を担う女性たちー第64回・復興の目撃者になってください・ホテル・エルファロ共同事業体」をHPに掲載しました。

栃木県生活協同組合連合会 2019年1月度以降の活動予定

2018年12月28日(金)

2019年1月度スケジュール 予定	
4日(木)	新年賀詞交換会(宇都宮市、小山市、医療生協)
7日(月)	連合栃木新年会
8日(火)	栃木県県民生活部、保健福祉部 訪問 とちぎ消費者ネットワーク幹事会 NPO法人とちぎ消費者リンク事務局会議
10日(木)	とちぎ消費者カレッジ(足利大学)
15日(火)	2019年賀詞交歓会 第4回常務理事会
18日(金)	第2回 役員・幹部職員定期学習会(環境)
22日(火)	農業試験場グループインタビュー
24日(木)	NPO法人とちぎ消費者リンク理事会
25日(金)	平成30年度栃木県孤立死防止見守り事業(とちまる見守りネット)連絡会議
29日(火)	日本生協連中央地連運営委員会・県連活動推進会議 宇都宮市消費生活講演会
30日(水)	NPO法人とちぎ消費者リンク事例検討会
31日(木)	よつ葉生協セットセンター新築を祝う会
2019年2月度予定	
7日(木)	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会 第3回福祉部会
12日(火)	第5回理事会 連合栃木総研・2019年度第1回講演会
18日(月)	第5回くらし部会
21日(木)	第3回 役員・幹部職員定期学習会(農業)
2019年3月度予定	
14日(木)	沖縄視察研修
15日(金)	〃
16日(土)	〃
18日(月)	第4回 役員・幹部職員定期学習会